

## 報告書抄録

ふりがな	くろつちいせきはくつちようさほうこくしよ							
書名	黒土遺跡発掘調査報告書							
シリーズ名	草津市文化財調査報告書							
シリーズ番号	137							
編著者名	内田保之							
編集機関	草津市教育委員会			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県草津市草津三丁目13番30号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2				
発行年月日	令和5年（2023年）3月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
くろつちいせき 黒土遺跡	しがけん 滋賀県 くまつし 草津市 みなみがさちよう 南笠町	252069	206-063	35度 59分 60秒	135度 56分 50秒	20201101 } 20210531	2,919㎡	大型商業 施設建設
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
黒土遺跡	集落跡	縄文時代		河道		石鏃		
		奈良時代		掘立柱建物・土坑		須恵器・土師器・ 炉壁・木製品		
		平安時代中期		掘立柱建物・土坑		土師器・黒色土器・ 灰釉陶器・緑釉陶器		
		平安時代後期		溝・井戸		土師器・黒色土器・ 瓦器・白磁・木製品		
		室町時代後期		溝		信楽・土師器・石鍋		
		江戸時代		井戸		陶器		
要旨	縄文時代から江戸時代にかけての遺構・遺物が確認された。なかでも、奈良時代には既往の調査でも検出されていた長舎建物の一部を再確認するとともに、その建物近くの谷斜面において金属生産が盛んに行われていることから、両者の関係が窺える。							